

大腸癌全国登録委員会議事録

日時 第 82 回大腸癌研究会・2015 年 1 月 22 日(木) 13 時～14 時
場所 J P タワーホール&カンファレンス 4 F ホール 1
参加者 浅野道雄, 加藤知行, 小平進, 固武健二郎, 小山靖夫, 小林宏寿, 斉田芳久
五十音順、敬称略

1. 前回委員会(2014 年 7 月)の議事録が承認された。
2. 報告事項
 - ①登録作業の進捗状況
2006 年治療例の登録 (8196 例/76 施設) を締め切り、集計作業を開始した。
集計結果は本年中に報告書 32 号として刊行予定。
 - ②登録情報利用申請：過去 6 ヶ月間に申請なし。
 - ③登録用テンプレート (規約第 8 版) の作成
2014 年治療例より適応される規約第 8 版に準じた登録用テンプレートを作成した。近日中に大腸癌研究会のホームページに掲載する。
 - ④新委員長就任
本委員会委員長に小林宏寿氏 (東京医科歯科大学) が新任した。2015 年 7 月からは小林委員長と会長の指名による新委員で構成される委員会が発足する。
3. 討議事項
NCD (データセンター) の利活用についての課題
 - ・NCD のシステムのなかに大腸癌登録を組み込んでゆくという方針に変更はないが以下の点に課題が残されている。
 - ・システム構築と運用のための資金源が未定であること
 - ・システム構築後の課題として：①データ利用が有料であること、②登録情報へのアクセスが相当に制限されること、③登録項目数が従来の 1/3 程度になることから、本登録が集積してきた情報の継続性が絶たれ、また施設単位で申請されてきた登録情報利用が困難となることがあげられる。
 - ・上記の対策として、NCD システムとは別に、従来の登録システムを継続することの必要性が確認された。ただし、従来の大腸癌登録と NCD の癌登録のデータ入力が二度手間とならないシステムとすべきことが指摘された。

文責：小林宏寿